

構造化抄録フォーム

番号	1-2-1
タイトル	Assessment of correlation between computerized tomography values of the bone, and maximum torque and resonance frequency values at dental implant placement
著者名	Turkyilmaz I, Tozum TF, Tumer C, Ozbek EN
雑誌 年;巻:頁	J Oral Rehabil. 2006 Dec;33(12):881-8.
目的	インプラント埋入部位において、当該部位の CT スキャンによる骨密度を測定し、固定トルク値と共振周波数との相関を明らかにすること
研究デザイン	<input type="checkbox"/> meta-analysis <input type="checkbox"/> systematic review <input type="checkbox"/> DB-RCT <input type="checkbox"/> RCT <input type="checkbox"/> CCT <input type="checkbox"/> cohort study <input type="checkbox"/> case control study <input type="checkbox"/> case series <input type="checkbox"/> case report <input type="checkbox"/> others
研究施設	トルコ アンカラ バスケット大学歯学部
対象患者	85 人の患者の 158 のインプラント挿入部位
介入・検査	CT 検査 OsseoCare 電子モニタを使用した固定トルクの測定 OSSTELL を使用した共振周波数の測定
評価項目	MPR 画像における CT 値 固定トルク値 共振周波数
統計手法	Mann-Whitney test, Regression analysis test
結果	部位による CT 値（平均値）は 657～912 を示し、下顎臼歯部は上顎前歯部に比べて有意に低く、上顎前歯部が最も高く、上顎臼歯部が最も低かった。 男女では男性が、老若では老人の CT 値が有意に高かった。 固定トルク値は 34.9～42.2 を示し、CT 値と強い相関を示した。 CT 値は共振周波数と相関を認め、同様に共振周波数は固定トルク値とも相関を認めた。
尤度比 Odds 比	
結論	CT によって、インプラントの安定度と骨質を推し量ることが可能である。

コメント	インプラント埋入における CT の有用性を高く評価した論文。
記載者	インプラント埋入における CT の有用性を高く評価した論文。